

不当解雇を撤回し
安全・安心のJALを

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
901(32-11)2017年12月01日

2017グランドハンドリング

職場の安全・健康アンケート実施中

取組期間：12月31日まで

航空連・グラハン連は、グランドハンドリングで働く皆さんの労働条件向上に役立てることを目的に「2017グランドハンドリング職場の安全・健康アンケート」を取り組んでいます。アンケート調査結果は、グランドハンドリングの労働環境改善に向けた国土交通省への要請や労使交渉などにも役立てます。多くのみなさんのご協力をお願いいたします。



737型機の貨物室に貨物を積み込むJGS作業員。

貨物やバゲージを5トンも6トンも搭降載する便が続くと腰が痛くなる。若い人でも腰が痛いのでコルセットをして作業をしている人もいます」と話します。

腰痛コルセット付けて作業

グラハン連が2016年12月に実施した「2016グランドハンドリング職場の安全・健康アンケート」によると、健康面で自覚症状ありと答えたかたの9割が「腰痛」を訴えています。機材の小型化、そして人員不足は確実に身体を蝕んでいます。

航空連は、人員不足解消のため人材確保は喫緊の課題と考えています。人材を確保し健康で長く働き続けるためには、労働条件向上や職場環境の改善は欠かせません。

スマホから簡単アクセス

マグロ取降ろし7トン、きついね!

近年、LCCの参入や機材のダウンサイジングによって貨物や手荷物のバラ積作業が増加しています。成田空港で主に海外エアラインのグランドハンドリングを行っているJASCO。ベテラン作業員の一人は「以前は中・大型機が多くコンテナやパレットなどに積みつけられていた物が小型機になったことでバラ積になった。757型機では、貨物室に積み込まれた70箱のマグロを降ろすこともある。一箱だいたい100キログラムなので全部で7トンぐらいになる。きついね」と話します。

日本航空は、破綻の際に大型機材を売却し小型機を増やしました。737型機が50機超になります。貨物や手荷物の搭降載を担当するJGSの作業員は「前後の貨物室に

航空連・グラハン連 2017



グランドハンドリング職場の
基礎情報へのアクセス

みなさんのご協力よろしくお願いいたします。